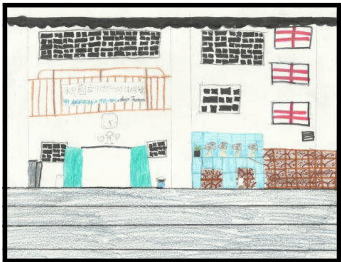


カラカス日本人学校が大好きな子どもたちが、日本にもベネズエラにもいっぱいいます!!
私たちの学校を愛してくれている多くの人たちの声にこたえて、今年1年も頑張ります!

■■ここが私たちの大好きな家! ここが私たちの大好きな学校!■■



冬休みに届いたメールやカードには、カラカス日本人学校へのエールがありました。そんな声にこたえて、今年 2017 年も教職員、子どもたちでもっともっと素晴らしい「世界一楽しい学校」を目指していきます。そんなエールのひとつが、上に掲げた2枚の絵です。これは本校に勤務する宿直用務員の二人の娘さんが描いてくれたものです。左の駐車場から見た校舎の絵は姉、右の玄関から見た校舎の絵は妹が描いたものです。慣れない漢字まで忠実に書いてあります。二人に聞いてみると、「日本人学校が大好き!」「この素晴らしい学校が私のお家よ!」と、誇らしげに言います。こんな身近なところにも、日本人学校を心から愛してくれている子どもたちがいるのです。二人は現地校が休みの時など、本校の子どもたちと一緒に遊んだりもします。子どもたちには国境も言葉の違いもありません。

■■平成29年(2017年)の幕開けです!■■



可能性



平成 29 (2017) 年 1 月 10 日 (火) に第 3 学期始業式を行いました。児童の言葉では、小学部 1 年生児童が、この 1 年で頑張りたいことを堂々と発表しました。学校長からは 1 年の初めにあたり、**可能性の話**。一人一人が持っている**自分の可能性**を伸ばして欲しい、**夢の実現**目指して頑張っ

カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…(その145)

カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です! NO. 40

開校当時の話は一端終わり、学校行事の起こりについて、沿革史を紐解いてみたいと思います。今、子どもたちはアビラ登山に向けて業間休みに運動場を走って、体力作りに励んでいます。その光景はある写真とだぶってきます。以前行われていた「校内マラソン大会」です。■校内マラソン大会のはなし■カラカス市内のカスティジャーナにあった間借り校舎からアティージョの新校舎に引っ越したのが、1981 年 7 月のことでした。それまで、運動会を行うのにも現地校のグラウンドを借用していました。それどころか、体育の授業もパルケデルエステまで出かけて行って実施していました。そんな苦勞をしてきましたから、自前の広い新校舎に引っ越した年から、新しい場所で新しい行事が始まりました。そのひとつが、「校内マラソン大会」です。普段はなかなか思う存分体を動かすことができなかつた子どもたちにとっては、水を得た魚のように、広い運動場を疾走しました。その伝統は今もアビラ登山に向けての体力作りとして残っています。つづく

